

○深谷秀峰議長 休憩前に引き続き会議を開きます。

○深谷秀峰議長 13番成井小太郎議員の発言を許します。成井小太郎議員。

〔13番 成井小太郎議員 登壇〕

○13番（成井小太郎議員） 13番成井小太郎でございます。議長のお許しが出ましたので、通告に従いまして一般質問をいたします。

質問は祭り、イベントについてでございます。

今年の夏も常陸太田市の各地区におきまして、地元の住民が一体となり、盛大にお祭り、イベントが行われ、きずなを深められたことと思います。また、常陸太田市には大きなイベントが季節ごとにあります。今後地域の活性化を図る、また、コミュニケーションの場としてもますます充実したものにしていかなければならないと考えます。

そこで質問ですが、①、本市の主なお祭り、イベントはどのようなものがあって、人出はどのようになっているか、過去数年間の推移、またその効果について伺いいたします。

②、集客アップのためにどのようなことをしているか、成果はどのようにあらわれているかご質問いたします。

③として、常陸秋そばフェスティバルについて伺いいたします。去年は合併10周年記念もあり、太田まつりとあわせて「常陸秋そばフェスティバル里山フェア」という名称のもと、昨年だけということで山吹運動公園で行われたと承知しておりましたが、今年の会場はどうなりますか。また、どのような祭りを考えておられるのか伺いします。

以上3点でございます。

○深谷秀峰議長 答弁を求めます。商工観光部長。

〔山崎修一商工観光部長 登壇〕

○山崎修一商工観光部長 常陸太田市のお祭り、イベントの充実についてのご質問にお答えいたします。

初めに、主なお祭り、イベントと来場者数の推移、効果についてでございますが、本市の祭りやイベントにつきましては、市民はもとより市外からも多くの誘客を図るとともに、地域の活性化を図るため、竜神峡こいのぼりまつり、里美かかし祭り及び常陸秋そばフェスティバル等を開催しております。また、各地において太田まつり、里美味覚祭、灯ろう祭り等を開催しております。さらに、各地域のボランティア団体等が中心となりまして、花菖蒲祭り、常陸太田駅夏物語、地域の夏祭り等、各地でさまざまな祭り、イベントが開催されておまして、本市の魅力アップを図りながら多くの誘客を進めるとともに、交流人口の拡大及び地域振興が図られております。

本市の主な祭り、イベントの来場者数につきましては、震災前の平成22年度と25、26、27年度と比較いたしますと、竜神峡こいのぼりまつりにおきましては、平成22年度4万1,000人、平成25年度3万3,000人、平成26年度3万6,000人、平成27年度4万4,000人と震災後徐々に回復し、今年度は震災前以上に回復しております。里美かかし祭りにおきましては、平成22年度2万8,000人、平成25年度3万6,000人、平成26年度7万2,000人となっており、多くの方へ出店を呼びかけ、時節に応じた力作の出品やタイムリーなテ

レビ放映等により多くの来場者がありました。常陸秋そばフェスティバルにおきましては、平成22年度2万5,000人、平成25年度3万5,000人、平成26年度7万人となっており、昨年度は合併10周年記念事業としまして常陸太田秋まつりをあわせて一本化し、山吹運動公園で開催し、常陸秋そばはもとより市内の特産品等を販売し、多くの来場者でにぎわいました。

次に、集客アップの施策とその成果についてでございますが、竜神大吊橋では、バンジージャンプの誘致や2カ月に及ぶ「Google CM」の放映、各種テレビ、雑誌等の活用等のほか、新たにナイトバンジーの開催、ダム湖でのカヌー体験の実施により、若い世代を中心とした誘客につながりイベント等への集客アップとなりました。また、常陸秋そばフェスティバル里山フェアでは、茨城放送の公開生放送を実施したり、西山研修所のイベントを同時開催し、新たな客層の集客につながりました。また、金砂郷地区におきましては、地元ボランティアグループと市観光物産協会の共催により、郷土料理をテーマとした「金砂郷けんちん村まつり」を開催し、手づくり感あふれるイベントとして、NHKの特集番組に何度も放映されました。さらに小中学生等を中心とした体験型教育旅行におきましては、農家民泊やかなさ笑楽校、西山研修所等を活用した受け入れを積極的に展開し、都市部との長期的な交流により、祭り、イベント等への主客アップを図っております。

次に、常陸秋そばフェスティバル里山フェアの開催場所、内容についてでございますが、昨年度、山吹運動公園で開催しました常陸秋そばフェスティバル里山フェアは、そばメニューのほかにも本市の多くの特産品等が販売され、そば通からファミリー層まで多くの来場者が訪れ、約3,000万円以上の経済効果を上げることができました。また、会場周辺に収容能力の4カ所の駐車場を確保し、JR常陸太田駅を含めた5カ所のシャトルバスを10分から15分間隔で運行しましたところ、主要道路や生活道路などでの交通渋滞もなく、来場者の送迎がスムーズにでき、今までの常陸秋そばフェスティバルにおきまして課題でありました駐車場及び渋滞問題も解消され、来場者や関係者に非常に好評でございました。

これらを踏まえまして、実行委員会におきましては今年度も昨年同様、山吹運動公園が最適地であると判断いたしまして、当該会場で今年11月7日から8日に開催することとなった次第でございます。

イベント内容につきましては、常陸秋そば食べ歩きコーナー、特産品の物販コーナー、姉妹都市と物産展やそば打ち体験教室などを行います。また、今年度は市内のそば店に協力をいただきまして、各店舗においても同時にイベントに参加していただき、市内全域でそばフェスティバルを盛り上げていければと考えております。

また、茨城県におきましては、本市を含めた県北地域のそば店を対象といたしまして、「常陸秋そばの里スタンプラリー」を同日の11月7日から実施する予定となっております。

○深谷秀峰議長 成井議員。

〔13番 成井小太郎議員 質問者席へ〕

○13番（成井小太郎議員） それでは2回目の質問をいたします。質問というよりもお祭りに対する金砂郷地区の考え方を皆さんにも知っていただきたいということもあります。それでは読

み上げたいと思います。

最近またお祭りが復活したり、また新しくお祭りが始まったりと、地域の活性化に向けた取り組みが出てきているように感じております。地域のお祭りは希薄になってきたコミュニケーションの場でもあります。

常陸秋そばフェスティバルにつきましては、金砂郷地区での一番大きなイベントで、あわせて文化祭が行われ、貴重なコミュニケーションの場、そして発表の場でもあったわけです。今年の開催場所については昨年同様というお答えをいただきましたが、やはり常陸秋そばの地元、金砂郷地区での開催のほうがインパクトがあるのではないかと思います。けれども金砂郷地区から常陸太田市全体の大きな形で常陸秋そばをアピールするということであれば、一歩前進したと考えたいと思います。昨年度のお祭りの不都合も何点か耳にしておりますが、改善を重ねよりよいお祭りになるよう努力をお願いします。

金砂郷地区においては、新しく「金砂郷けんちん村まつり」が開催されるようになりました。地区の文化祭とあわせてまたにぎやかにできるように、市としてのバックアップをお願いしたいと思います。

先ほどの主な祭り、イベントにつきましては、これから交流人口増のためにも大切なところだと思っております。来年7月には道の駅がオープンします。相乗効果が図られるように、これからもなお一層の充実を図っていただきたいと思います。

また、この地域に良質な農産物が多い中で常陸秋そばは大きな可能性を持った産物です。大切に育てていてもらいたいと思います。

先ほどの答弁の中で最後に、「常陸秋そばの里スタンプラリー」が行われるということですが、この件についてもう少し詳しく説明をいただきたいと思います。

以上で私の一般質問は終わりといたします。

○深谷秀峰議長 商工観光部長。

○山崎修一商工観光部長 「常陸秋そばの里スタンプラリー」についてお答えいたします。

茨城県では県北地域への誘客促進を目的といたしまして、日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市及び太子町の6市町におきまして、常陸秋そばフェスティバルなど、新そばの時期に開催されますそば祭りに合わせまして、地元そば店とそば祭り会場を巡るスタンプラリーを実施いたします。開催期間は11月7日から来年の1月31日までの86日間です。また、スタンプラリーを盛り上げるため、参加店のうち賛同をいただきました店において、1月下旬の2週間に通常価格から200円引きでつけけんちんそばを提供いたします。

なお、スタンプラリーの商品でございますが、スタンプ2個コースは、2,000円相当の特産品を抽選で200名様に、スタンプ3個コースは、3,000円相当の特産品を抽選で300名様に送られることとなります。